

森林教室・木工教室

地域の小中学生や一般の方を対象に、主に教室やホールでの講義により、森林の持つさまざまなはたらきや人間と森林のかかわり、林業の大切さ等についてお話しています。森林教室の実施により、自然や生き物に対する理解が深まり、それらを大切に作る心が育ちます。

また、松ぼっくりやドングリ等の自然素材を使ったクラフト体験やヒノキ等の間伐材を利用した木工教室も実施しています。木工やクラフト体験を通じて、樹木や草花に対する親しみがわき、それらの特徴や生態に対する関心が高まります。

事例① 森林教室(常陸大宮市立村田小学校) ★H23年度

常陸太田市立村田小学校の第6学年の児童約30名を対象に森林学習会を実施し、森林のはたらきについてお話したほか、事前にいただいた森林に関する質問に対する回答・解説を行いました。また、森林土壌が持つ雨水の貯留・浸透作用や浄化作用を分かりやすく説明するため、特別な装置を用いて実験を行いました。質問の回答に納得したり、実験結果に驚いたりする児童の表情が印象的でした。



事例② 森林教室・木工教室(かすみがうら市立下稲吉小学校) ★H23年度

かすみがうら市立下稲吉小学校の第5学年の児童とその保護者を対象に、森林教室と木工教室を実施しました。

森林教室では、茨城県の森林の現況やマツ枯れ被害の状況についてお話ししました。また、木工教室では松ぼっくりを使った「愛林の鶴」を親子で製作しました。製作を通じて自然素材の温かみや自分だけの作品を作る楽しさを感じる時間となったようでした。



事例③ 「親林のつどい」((独)森林総合研究所林木育種センター) ★H24年度

(独)森林総合研究所林木育種センター(日立市十王町)において、同法人主催の「第17回『親林(しんりん)のつどい』」が開催され、茨城森林管理署も参加しました。

署のブースでは、パネル展示のほか、アケビなどのつるを編んで作ったクリスマス用リースの飾り付け、丸太切り体験、サクラの枝を使った「もっくん^{※1}」作りを実施しました。雨天にもかかわらず、大勢の方(イベント全体で約900名)にお越しいただきました。



※1 もっくんとは、様々な大きさのサクラの枝に木の実や目玉パーツ等を取り付けて顔を作り、その後、金具を取り付けてキーホルダーやストラップ等に加工したものです。

